

平成31年 第1回天城町議会定例会

第 5 日

平成31年 3月11日（月曜日）

平成31年第1回天城町議会定例会議事日程（第5号）

平成31年3月11日（月曜日）午前10時開議

開議

- | | | | |
|-------|--------|----------------------------------|------|
| ○日程第1 | 議案第16号 | 平成31年度天城町一般会計歳入歳出予算について | 町長提出 |
| ○日程第2 | 議案第17号 | 平成31年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について | 町長提出 |
| ○日程第3 | 議案第18号 | 平成31年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について | 町長提出 |
| ○日程第4 | 議案第19号 | 平成31年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算について | 町長提出 |
| ○日程第5 | 議案第20号 | 平成31年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について | 町長提出 |

散会

1. 出席議員（14名）

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1番	平岡寛次君	2番	喜入伊佐男君
3番	吉村元光君	4番	奥好生君
5番	昇健児君	6番	大吉皓一郎君
7番	久田高志君	8番	秋田浩平君
9番	上岡義茂君	10番	松山善太郎君
11番	武田正光君	12番	柏井洋一君
13番	平山栄助君	14番	前田芳作君

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 藤井恒利君 議会事務局書記 宇都克俊君

1. 説明のため出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	森田弘光君	教育長	春利正君
教委総務課長	基田雅美君	会計課長	大久明浩君
社会教育課長	神田昌宏君	総務課長	米村巖君
税務課長	岸恭聖君	企画課長	前田好之君
保健福祉課長	碓本順一君	建設課長	昇浩二君
水道課長	柚木洋佐君	農業委員会事務局長	上松重友君
農政課長	福健吉郎君	農地整備課長	芝田達士君
町民生活課長	森田博二君	商工水産観光課長	祈清次郎君
選挙管理委員会書記長	山田悦和君	総務課長補佐	中村慶太君

△ 開議 午前10時00分

○議長（前田 芳作議員）

これから本日の会議を開きます。

直ちに本日の日程に入ります。

- △ 日程第1 議案第16号 平成31年度天城町一般会計歳入歳出予算について
- △ 日程第2 議案第17号 平成31年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について
- △ 日程第3 議案第18号 平成31年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について
- △ 日程第4 議案第19号 平成31年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算について
- △ 日程第5 議案第20号 平成31年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について

○議長（前田 芳作議員）

日程第1、議案第16号、平成31年度天城町一般会計歳入歳出予算について、日程第2、議案第17号、平成31年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について、日程第3、議案第18号、平成31年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について、日程第4、議案第19号、平成31年度天城町後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について、日程第5、議案第20号、平成31年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について、以上5件を一括議題といたします。

この5件の議案について、提案理由の説明を求めます。

○町長（森田 弘光君）

皆さん、おはようございます。

それでは議案について、提案理由の説明をさせていただきます。

議案第16号、平成31年度天城町一般会計歳入歳出予算について説明いたします。

先日、施政方針の予算の概要で報告いたしました内容につきまして、変更が生じましたので改めて御説明いたします。

平成31年度の当初予算額は54億7千797万9千円で、前年度と比較します

と9千940万5千円の減額となっております。

その主な項目について御説明いたします。

歳入におきましては、町税が3億8千121万3千円、地方譲与税が7千333万円、地方消費税交付金が8千796万5千円、地方交付税が27億2千844万4千円の計上でございます。分担金及び負担金におきましては5千929万4千円、使用料及び手数料が1億272万7千円、国庫支出金が6億767万3千円、県支出金が4億562万7千円の計上でございます。財産収入におきましては2千103万9千円、寄附金が3千200万1千円、繰入金が3億216万円、諸収入が9千506万円、町債が5億5千310万円の計上でございます。

一方、歳出におきましては、議会費が9千360万6千円、総務費が9億11万4千円、民生費が10億7千103万3千円、衛生費が3億9千910万2千円の計上でございます。農林水産業費におきましては7億721万9千円、商工費が1億5千772万7千円、土木費が7億235万4千円の計上でございます。消防費におきましては1億6千756万1千円、教育費が4億3千111万円、災害復旧費が535万3千円、公債費が8億3千880万円の計上となっております。

以上、御審議のほどよろしく願ひいたします。

議案第17号、平成31年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について御説明いたします。平成31年度の当初予算は9億5千592万1千円で、前年度と比較しますと2千637万3千円の増額となっております。

歳入の主なものは、国民健康保険税8千598万8千円、県支出金7億5千983万9千円、繰入金1億966万9千円となっております。

歳出の主なものは、総務費786万5千円、保険給付費7億2千601万2千円、国民健康保険事業納付金1億9千527万7千円、保険事業費2千451万円、諸支出金205万3千円となっております。

以上、御審議のほどよろしく願ひいたします。

議案第18号、平成31年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について説明いたします。

平成31年度の当初予算は9億2千496万1千円で、前年度と比較しますと3千849万円の増額となっております。

歳入の主なものは、介護保険料1億2千109万9千円、支払基金交付金2億4千221万2千円、国庫支出金2億7千821万9千円、県支出金1億3千913万8千円、繰入金1億4千394万円となっております。

歳出の主なものは、総務費1千302万8千円、保険給付費8億8千942万

7千円、地域支援事業費2千250万6千円となっております。

以上、御審議のほどよろしく願いいたします。

議案第19号、平成31年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算について説明いたします。

平成31年度の当初予算は6千696万9千円で、前年度と比較しますと261万2千円の減額となっております。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料3千246万3千円、繰入金3千341万4千円、諸収入107万1千円となっております。

歳出の主なものは、総務費188万8千円、後期高齢者医療広域連合納付金6千488万1千円となっております。

以上、御審議のほどよろしく願いいたします。

議案第20号、平成31年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について説明いたします。

平成31年度の当初予算額は3億4千513万3千円で、前年度と比較しますと6千16万8千円の増額となっております。

歳入の主なものは、水道使用料9千63万4千円、国庫支出金8千500万円、繰入金5千987万4千円、町債1億960万円となっております。

歳出の主なものは、総務管理費2億9千448万3千円、公債費5千60万円、償還金利子及び還付加算金5万円となっております。

以上、御審議のほどよろしく願いいたします。

以上で、提案理由の説明を終わらせていただきます。

○議長（前田 芳作議員）

質疑に入ります前に、それぞれの所管外のものに絞って、各予算の会計名とページ数を述べて質疑をお願いいたします。2、3点に絞ってお願いしたいと思います。これから質疑を行います。

○4番（奥 好生議員）

一般会計のところで、ちょっと基本的なことだけ総務課長にお伺いします。

まず、当初予算書の1ページ目、地方自治法では予算書の作り方について、きちんと様式が定められていますけども、1ページ目の歳入歳出予算第1条から第7条まで書いてありますけども、2条、3条、4条が記載されていないわけなんですけども、継続費、繰越明許費、これ2条、3条。4条債務負担行為というのがあるんですけども、31年度については継続費ゼロ、繰越明許費当初予算ではゼロ、債務負担行為31年度から新たに債務負担行為となるものは、もうなしということで理解してよろしいでしょうか。

○総務課長（米村 巖君）

今、奥議員の御質問の中での項目については、31年度はありません。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○3番（吉村 元光議員）

建設課長にお尋ねをいたします。104ページ、秋利神キャンパスパーク管理費でございますけれども、あそこの管理につきましては、非常に大変な苦勞をなさっていると思います。大きな事業でこの施設ができたわけなんですけれども、この予算で町民の皆さんに利用していただくというのは大丈夫でしょうか。だいたい木とか草が生い茂っているみたいです。それと今後につきましても、もうそろそろあそこをどのように管理していくとか、いろんな利用方法を考えていくような議論ぐらいあっていいかなと思いますが、町長にお尋ねします。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

秋利神キャンパス管理費としまして上げておりますが、年に2回ほど重点的に作業を進めているところであります。その中で利用に即しているかと言われますと、その利用状況が今のところは見えないところであります。管理のほうに重点的に行っているところであります。今のところは、夏、冬に向けて年2回ほどと、またその時期は、その繁忙状況によって多少はずれますが、基本的には夏と冬を見据えてやっているところであります。

○町長（森田 弘光君）

吉村議員にお答えいたします。

昨年の12月の議会でも、この秋利神キャンパスパークの運営について、議会で議論がなされたというふうに伺っております。一例が、そのニャンダーランドが非常に手狭になっている、そこら辺についてもっと大きなところで、今、猫が手狭ということで、猫をもっと快適な環境でストレスのないような環境で使用するということについて等の提案もあったようです。また、今、うちの建設課長からも説明がありましたように、十分な活用がなされていないと思っていますので、そういう再利用計画については、議論をしていく時期に来ているというふうに考えております。

○3番（吉村 元光議員）

建設課等にもお願いをいたします。

施設のほうで老朽化した施設等ありましたら、なるべく早いうちに予算化などして、撤去したほうがいいと思います。

以上です。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○6番（大吉 皓一郎議員）

56ページ、保険福祉の区分28の繰出金。すごい繰り出しをしとるんですけど、ここあたりのところの説明、事務費までこれ繰り出す必要もあるのか、上からちょっと順に、簡単にこういう理由でということ等、説明をお願いします。

それと、91ページ、林務総務費の委託料、私は山の日ができたということで、予算がこんなにくさんつけられて非常に感謝しておるところでございますが、その委託料と14の使用料、ここあたりでこの山が、今、荒れ放題になっているとか、松くい虫でだいぶやられて赤土が川に流れて、非常に海も痩せてきておるとい話をよく聞きます。ここあたり、ちょっと説明をお願いします。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

民生費、社会福祉費、繰出金というところですが、それぞれ国・県・町の負担がございまして、例えば国保の保健基盤安定繰出金というのがございます。国から800万円余り入って、それと県とあと町の分を足して特別会計のほうに繰り出す部分です。この中身につきましては、今年度は、それぞれが全て法に基づいてそれぞれの負担割合を足しこんで、特別会計のほうに支出しているところです。

以上です。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

林務総務費の委託料でございますが、まず松くい虫駆除委託、これは伐倒駆除です。これは健全木で当年度中に松くい虫被害を受けたものに対する事業ですが、31年度は30m³を見込んでおります。

また松くい虫の駆除委託の町単につきましては、その県の委託事業以外に急遽やるところについて、町単で30万円ほど組んでおります。

里山林機能回復事業委託でございますが、これは枯損木の伐倒事業になります。400m³を見込んでおります。

また地域森林環境づくり促進、樹幹注入事業ですが、これについては毎年30本程度やっております、31年度も35本計画に上げております。

使用料につきましては重機借り上げ、これについては松くい虫関係の重機の借り上げということです。

また林道補修につきましては年何回か行うんですが、特に台風等の後、林道の補修用に重機を借り上げて整備しているところがございます。

○6番（大吉 皓一郎議員）

その国保の今の回答ですけど、国保これ自分で財源を繰り入れないでできる方法というの、これ今までなるべくそういうふうな財源を自分の自主財源を入れないような形でやっておるんですけど、最近そういうふう何ていうの、税で徴収とかそういうのが、どうでしょうか、順調に入っておるんですか、国保税。

それと、必ず負担金って言ってこれで払わんと、その中から払うんじゃないですか、負担金というのは。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えします。

今、大吉議員がおっしゃったのは、いわゆる法定外繰り入れのところでしょうか。さっき説明を申し上げたのは、天城町の例えば国保会計の運営に当たって、国はこれだけ持ちます、県はこれだけ持ちます、町はこれだけ持ちなさいという中の一般会計からの繰り出しになります。これまでは、実はそれ以外に表現は悪いんですがお金が足りなくて、どうしても一般会計からというのがございました。前年度から激減しまして、今年度はゼロ円となっております。

税収につきましては、また税務課のほうから御説明申し上げます。

○税務課長（岸 恭聖君）

お答えいたします。

国保税の税収につきましてはの御質問とっております。現在、徴収率等といたしましては55、6%というふうな形で推移しております。徴収率自体、前年度、前々年度から比べますと5ポイントほどアップしておる状態ではありますが、まだ依然として低いというのが実情であります。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○7番（久田 高志議員）

まず、歳入の25ページと歳出の37ページと関連すると思しますので、まずこれ1点です。歳入25ページの繰入金、繰入金の中の土地開発基金繰入金700万、その後37ページの用地購入費810万円。この内訳、詳細、目的、お願いします。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

この基金の取り崩しにつきましては、歳出のほうで説明させていただきます。旧競り市場の土地購入費が500万、西阿木名に住宅建設用地として200万で計上させていただきます。（「歳出が810になっているけど」と呼ぶ者多し）ちょっと待ってください。

済いません。700万基金を取り崩して、あと110万については一般財源です。その中で先ほど土地購入が310万、 m^2 あたり1千600円で計算して1千600 m^2 ということです。ちょっと今、手元に土地の計算のあれが、ちょっと見当たらずで大変申しわけない。そういう中で一般財源の持ち出しということになります。

○7番（久田 高志議員）

ちょっと確認します。一般財源込みの700万の取り崩しに、110万の一般財源で、西阿木名の住宅予定地が310万円、競り市跡が500万ということでよろしいですか。

西阿木名地区に関しては住宅用地ということでわかりますけれども、この競り市500万で購入して、後何をするのか、あれ建物もあるんですけど、解体とかああいうのを考えると相当費用かかると思うんですけど。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

旧競り市場につきましては、昨年度8月に当時の議員の皆さんお集まりいただいて、全員協議会開いてもらっていたところでございます。

農協のほうから平成24年ごろから、今の新しい競り市場で競りを開催しているわけですが、その後、利用されていない旧競り市場につきまして財産処分したいということがありまして、まずは行政、町のほうにその購入の意思がないかということをお問われておりました。これについては、さっきの議員の皆様は御承知かと思えます。その中で全体の意見として、あの用地については購入したほうがいいですよということで、結論がなったかと思っております。

価格については、今後協議していくということで、私のほうが主になりまして農協のほうと協議を3回ほどもってきておりました。その中でなかなか昭和48年、9年当時の農協は、養豚場として土地を取得したわけでございます。その中で登記簿等を見ると民間の方から土地開発公社で事業を行って、それで農協のほうに移ったのではないかなというふうに推測されております。

その中で、また協議の中で金額についてなんですが、当時のちょっと売買額等がなかなか探し出せませんでした。その中で農協のほうから帳簿価格というのが、古い資料から帳簿価格が637万6千円というのがずっと残っているということがありまして、これ確認はできませんでしたが、大体そのぐらいの額で購入したのではないかという推測のもとにその数字から始めたところです。

それで2月に入りまして、当初予算もそろそろ調整が最終に近づいたところに協議いたしまして、とりあえず500ぐらいで進めてみましょうということで話がなり

まして、まだ額については決定ではございません。

今後、「買った後の目的」と呼ぶ者多し）そういうことで、今回の予算計上です。買った後の目的につきましては、町全体ではまだ方向性は見えておりません。また農政課においても、現状で施設を機能させるような畜産で使うというようなことは、今、計画はしておりません。

○7番（久田 高志議員）

課長、そういうとこですよね。言葉尻を取ったのかどうか分からないですけども、全協でしたときもそういったその価格とかそういったものに対して、ちゃんと使用目的とか審議をして、それから話を進めるべきだということなんですよ、我々の認識は。目的もなく、金額の提示も確証もなくそのぐらいで、そんな考えで予算立てられたら非常に困ります。

以上です。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○8番（秋田 浩平議員）

これは保健福祉課ですね。ページ数59ページの児童福祉の中の負担金補助及び交付金。この中で広域保育所入所措置費の負担金が、べらぼうに560万という金額がふえているみたいです。

後、子育て支援拠点事業負担金が新しく出てきています。それとページ数67ページ、同じく衛生費の扶助費です。67ページ、款項目でいくと20項の扶助費。ここで乳幼児医療助成金という項目がなくなっています。これはどういうふうな形で、どういうふうな措置がされたのか。

あと、85ページの農林水産業費の目の29、営農支援事業費の地域おこし協力隊という形で、去年も載っていましたが、今回も同じような予算で出ています。ここに計上されている中で、去年もプリンター購入とかパソコン購入とか出ていたが、この地域おこし協力隊、これが農政課のほうでどういうふうな形で動いているのか、この3点お願いします。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えします。

広域保育所の措置費の負担金についてですが、今年度、かなり伸びておりまして、新年度ちょっと伸びが予想されるということがありまして計上させていただきました。ちょっと人数等につきましては、申しわけありません。また後でおつなぎさせていただきたいと思っております。当然これにつきましては国のほうの負担もございまして、あわせて増額させていただいております。

2点目の子育て支援拠点事業負担金というところですけども、これにつきましてはこれまで松原公民館のほうで保育所に行っていない子供たち対象に、例えば手遊びであるとかおやつづくりであるとかいうところを、プログラムを組んで行っていました。これを防災センターのほうで、もうちょっと規模を拡大した中で実施したいというところで計上してある負担金になります。委託先はNPO法人のほうにお願いして実施いたします。

3点目の乳幼児医療なんですけども、29年度までは保健センターのほうで事務分掌になっておりました。今年度から社会福祉系のほうに移行しまして、同じ59ページの下のほうに、乳幼児医療費助成金ということで計上させていただいております。

以上です。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

29目の地域おこし協力隊でございますが、この予算計上につきましては29年度から募集をかけているところでございますが、なかなか採用に至っていないところでございます。30年度におきましても、当初から募集の広告は出しているんですが、実際に問い合わせもなかったというところでございます。

今回も地域おこし協力隊、当初、町内で生産される果樹、野菜類をちょっとまとめた形でどうにか流通販売につなげていけないかということで、この地域おこし協力隊の力を借りたいという思いで計上しております。

今回もそのような目的で予算計上して、募集を継続したいというふうに考えております。また、あわせて31年度から直売所の開設というのもございますので、そういったことにも携わっていただけないかということで、今回も計上させていただいております。

○8番（秋田 浩平議員）

予算で、これ去年の予算を計上したときの金額、これ1回落としています。いつでしたかね。これは勉強不足だったと思いますけど。6月。この予算書、私たちが見るときに、補正っていうのをなかなか見る機会がないもんですから、そこでまた同じのが出ているというような感じになりますので、今の説明の中でも最初に去年の6月でこういうふうにして落として、また再計上ですという形でもおっしゃってもらえれば、こっちも質問しやすくいいんですけども、これはまた私たちが目を通さないというのも、またまずいことであると思います。

それと児童福祉の件ですけど、やっぱり私、この間の補正のところでも聞いています。結局、人数が確定というのは私たちのほうではわかりません。ですので、や

っぱりこういうふう金額ぼんと出るだけではなくて、実質、去年度の当初予算からすると562万という金がふえているんですよ。その前の年も200万ぐらいふえましたよね。だから、その根拠となるべき数字等が私たちにも少しでもわかるようにしてもらわないと、はっきり言ってぱっと見ただけではわかりませんので、私たちがやれるのは前年度の予算と今年度の予算の比較で見るとというのが一番簡単ですので、またそういう見方しかできません。ですので、そういうふうなところはちゃんと明細みみたいな形で聞かせてもらえればと思います。

以上です。

○議長（前田 芳作議員）

委員会のほうで詳しい説明を配付していただきたいと思います。
ほかに。

○7番（久田 高志議員）

歳出の33ページ、一般管理費の中で副町長も特別職級662万4千円が計上されております。議案には出てきておりませんが、今年度上程をするという計画でよろしいわけですか、これは。

○総務課長（米村 巖君）

計画云々ということではなくて、やはり副町長は条例の中でも1名置くということになっていますので、その辺いつでも対応ができるように当初予算で計上させていただいております。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○10番（松山 善太郎議員）

特別交付税がなかなか数字が出てこなくて気になっているんですが、初年度どれぐらいの見通しになっているのか。地域おこし協力隊が5、6名いますけど、特別交付税を措置するという国の説明だったと思うんですが、それが一つ足りているのかどうかというのをまず教えてください。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

地域おこし協力隊、上限額400万ということで、その中で特交の中に含まれているということで、そのままこれは、今、松山議員から説明あったんですが、県の説明の中では盛り込まれているという説明を受けております。

○10番（松山 善太郎議員）

30年度は幾らになっています。27、28、29年度はわかったんですけど、29億3千万ぐらいのうちの幾らか教えてほしいんですが。

○総務課長（米村 巖君）

お答えします。

特別交付税30年度が1億992万8千円ということになっております。
（「992万。間違いじゃないかな」と呼ぶ者多し）

○10番（松山 善太郎議員）

今の話が本当ならば大変な話ですよ。27年度が1億8千400万、28年度が1億6千497万ですから約1億6千500万、29年度も1億6千500万、その数字としてその中に盛り込まれているかどうかというよりも、こんなんで大体普通変わらないわけですよ。1億8千400万から1億6千500万、1億6千500万、今回1億900万というのは、ちょっと間違いじゃないかな。6千万も少なくなっていれば、その地域おこし協力隊の分は、ダブルでマイナスなっているという勘定にしかありませんよ。ですから、地域おこし協力隊もいいんですよ確かに。いいんですけど、やはり400万というお金を使うわけですので、どこに使ったのか2千400万ですかね。車のせて住宅与えてね。やはりそこら辺を盛り込まれたか盛り込まれてないかはわからなくても、数字の流れとしてせめて1千万でも1千500万でも半分でもふえれば、まあ入っているだろうとも言えるけど、今言ったのが本当であれば、そりゃ大変よ。この29年度までは決算書に載っているから、それ見たから間違いな多分。30年度が1億というのがちょっと腑に落ちませんけどね。それはそれで、後でちゃんと見ていてくださいね。地域おこし協力隊も安易にふやそうとばかりしないで、誰でも新しいの珍しいのは飛びつきやすいんですけど、やっぱりシビアな見方もしないと、逆に交付税でくるところかどどんん持ち出しになっているかもわかりませんがね、数字だけ見たら。

後、これもどうも腑に落ちんのんですけど、ページの14に保育所の保護者負担金というのがあります。これは一応取るわけね。で、59ページにいいですか、保健福祉課長。児童養育育成事業補助というのがあります。これを見て、どうも腑に落ちないんですけど、保護者から集めるお金のほうがわずかではあるが少ないんですよ。どうも、やはり数字としては、同額かちょっとの差であればいいんですけど見てください、14ページの保護者負担金と59ページの子供たちに返す分です、3千531万9千。総務課長、償還金がね、さっきの元金がことし7億8千万余りになっていて、去年までは7億1千万だったんですが、7千万ほど1割ほどぽっと償還金がふえているんですが、どこら辺で金をたくさん借りたのか償還が始まったとか、何かあると思うんですが。

○総務課長（米村 巖君）

お答えします。

防災センターの償還金が始まっております。（「防災センター」と呼ぶ者多し）はい。（「何年ですか、返済は」と呼ぶ者多し）ちょっと詳細は後でよろしいですか。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

保育所の件でお答えいたします。

まず、歳入の公立保育所負担金のほうなんですけど、歳入については切り捨て、歳出につきましては切り上げの中の4千円のずれとなっております。ただこれにつきましてはしっかり調整して同額になるように、今後行っていきたいと思っております。

○10番（松山 善太郎議員）

幾らのずれと言いました。私が見た限りでは3千394万6千円と3千531万9千円ですので、140万ほど違っているような気がするんですが。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

歳入のほうで3千531万5千円、歳出のほうで3千531万9千円で計上させていただいているところですが。

○10番（松山 善太郎議員）

その3千531万5千円というのは、与名間の僻地保育所とかそういうところ入っているんじゃない。私が言っているのは、天城南部、北部ですよ。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

4保育所と広域のほうまで、申請の中で一旦負担してもらった保育料については補助しているところです。

○10番（松山 善太郎議員）

広域の分はわかりました。

じゃあついでに、与名間の僻地保育所から保護者負担金ということで14万4千円取っていますが、これは後で返しているんですか。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

はい、手続の中でお返ししているところです。

○10番（松山 善太郎議員）

21ページお願いします。

多面的機能支払公金事業交付金が、これ余りそうそう数字が動くもんじゃないんですが、31年度350万ほどふえていますが、ふえた理由と、多分どっかの地区がふえたと思うんですが、どこなのか。

○農地整備課長（芝田 達士君）

お答えいたします。

ふえている組織としまして、天城、当部、三京、西阿木名、瀬滝、5地区がふえ

ております。

○10番（松山 善太郎議員）

多分面積がふえたと思うんですが、ですよ。これは簡単にふやせるものですか。

○農地整備課長（芝田 達士君）

簡単にふやせると言いますとあれなんです。集落のほうから、今までに事業地区内ですけど入っていなかった場所もあり、県のほうからそういう要望等があれば出してくださいというのがありまして、あと、集落組織の皆さんから要望地区があればそこを出しているような状況です。簡単というか、まあ毎年こういう要望は受け取るように努力しております。

○10番（松山 善太郎議員）

今、広域化になって、役場のほうで多分事務局をやっているわけでしょう。これふやしてあげたらいいと思います。いっぱいあるような気がしますよ。例えば、今耕作面積が大体2千100haでしょう。これ半分ぐらいしか入っていないんじゃないかな、半分ちょっとぐらいしか。少なくとも3分の1は入っていないと思うよ。これは、前の柚木課長のときからお願いしているんですが、そのときやっぱり集落でやるべきだったんでしょうけど、今、広域になって、そちらのほうで事務局預かっているわけですので、便宜図ってふやしてあげて、やったほうがいいと思います。

歳入のほう見えていますので、ごめんなさいね。18ページと20ページに子どものための教育・保育給付費負担金というのがあるんですが、18ページと20ページだから多分国庫支出金と県支出金じゃないですかね。1千415万6千円と1千33万7千円、結構金額が大きいんですが、これは何なのか。お願いします。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

18ページの児童福祉費負担金、国庫支出金の負担金のところの1千415万6千円です。

たしか、保育環境の向上のためだったと思うんですけど、ちょっとすいません、詳細のほうがちよっとうろ覚えなので、申しわけないんですが後ほどお答えさせていただきます。

○10番（松山 善太郎議員）

課長ね、これ370万から1千400万になっているわけですよ。片方180万から1千万になっているわけ。普通、私たちが見るときはこういったところを見るわけですので、大体、自分の課の担当していて、急に変わったところぐらいは前もってチェックして、覚えられなかったらメモして持っとかないと、後で後でといったら質問するほうも張り合いなくなりますよ。こっちはやっぱり一生懸命

見て調べてきて、予算書、去年のも一昨年のもずっとめくって、どのように変わっているか変化しているかというのを見て、どうもおかしいなと、さっきの秋田さんの広域も260万から780万ぐらいに、3倍ぐらいになっていますからね。そこら辺はちゃんと押さえてこないと、議会になりませんがね、そんなことじゃ。

15ページのAYTの使用料、お願いします。

これ、少しずつではありますが、2千430万、2千417万、2千380万、これ現年度。過年度分が、270万、230万、200万と、徐々に少なくなっているんですが、徴収できなくなっているのか、加入者が少なくなっているのか、お願いします。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

AYT使用料、現年度分に関しましては、死亡、脱退、それと生保への移行に伴うもので、徴収率につきましては、その調定額に対前年比同額の98%を見込んで計上してございます。

AYTの滞納繰越分に関しましては、不納欠損分の調定額を毎年減額させていただいておりますのでそれを加味した額で、徐々に予算額が減っていったような状況であります。

徴収率につきましては、対前年比同額で計上させていただいております。

○10番（松山 善太郎議員）

それと、あと2点ほど、同じところです。

IRUと読むんですかね、芯線の使用料等というのが調べていて気がついたんですけど、28年度まで623万だったのが、29年度から510万になっているんですが、これは私たち議会で気がつかなかったんですかね。私、初めて気がついたんですが、110万ほど下げておりますが、こっちが取るのですので下げてほしくないんですが、その理由。

AYTの手数料が、3年ずっと59万、59万、59万で予算計上されているんですが、そんなはずはないと思うんですけどね。性格的に手は抜かないタイプだろうと思うけど、見てください。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

IRU契約につきましては、毎年同額計上しているかと思っております。

それと、AYT広告手数料ですけども、59万、対前年比同額ということで、AYTの文字広告につきましては、この分を計上させていただいております。

○議長（前田 芳作議員）

しばらく休憩します。11時15分より再開します。

休憩 午前11時05分

再開 午前11時15分

○議長（前田 芳作議員）

休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほどの特別交付税についての説明を、総務課長、答弁をお願いします。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

ちょっと説明不足がありました。

当初予算の予定で1億900万を上げております。これ3月末に正式に決定がきますので、その中でまた補正対応で予算を替えていきたいと思っておりますので、恐らく今、松山議員が先ほどおっしゃったような数字にはなってくるんだとは予想はしております。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

先ほどの子どものための教育・保育給付費負担金のところです。

中身が特例保育補助金ということで、与名間僻地保育所分で300万足らず、290万5千円です。広域保育補助金ということで、443万円歳入があります。歳出のほうとしては、与名間保育所分で145万2千、広域のほうで221万5千円です。

今、広域のところなんですけども、今年度、30年度も補正のほうで対応させていただいたんですけども、最終的に8名の子供が広域にかかっております。新年度につきましては、5名を見込んで予算計上させていただいておるところです。

以上です。

○13番（平山 栄助議員）

ちょっとお尋ねしますが、ページ数105ページ、款の土木費の中の空港管理費、前年度比較しますと209万8千円減になっておりますが、人事異動に伴うのか、その説明と、節の賃金の中で嘱託賃金602万4千円組まれておりますが、これ単純に割ると割れ切れないんですが、この説明と、あと103ページ、これも土木費の中の目の空き家再生等推進事業費の中の節の15番工事請負費1千200万組まれておりますが、これ1件は聞いたんですが、場所、これ1件分なのか、場所がわかるとれば説明をお願いします。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

空港管理費のほうはしばらくお待ちください。

空き家再生事業の件でありましたと思いますが、空き家再生のほうを1件、松原であります。活用タイプが1件で、松原のほうに実施いたします。それが800万円との予算になっておりまして、あと400万円が除去タイプのほうを考えております。場所につきましては、平土野地区ということで今考えております。

空港管理費は、しばらくお待ちください。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○10番（松山 善太郎議員）

90ページ。

90ページに公用車のリース料というのがあると思うんですが、ちょうど真ん中あたりです。古い方の予算書見ていますけど、合っているでしょ。90ページのちょうど真ん中あたり、使用料及び賃借料、公用車のリース料94万8千円、これの契約内容について教えてください。

○農地整備課長（芝田 達士君）

お答えいたします。

月にして7万9千円ほどと思います。

契約内容といたしましては、保険料は年齢問わずの保険料込み、あと、車検、リース期間の車検代込みの契約となります。契約後は所有になります。（「何年」と呼ぶ者多し）5年契約になっております。

○10番（松山 善太郎議員）

これ7万9千円のですよね、475万ですか、どんなタイプのどれぐらいの車ですかね、400万以上の車といたら。

○農地整備課長（芝田 達士君）

お答えいたします。

メーカーとしましてはスバルの、フォレスターといいます。2千400ccだったかと思います。

○10番（松山 善太郎議員）

これ多分新車ですよね。フォレスターといたらどのような車かわかりませんがね、ちょっと行き過ぎじゃないんですか。ここ、何でしたかね、90ページ、徳之島ダムの水管理施設費のところですよ、ダムの水を管理する。フォレスターといたら高級車じゃないですか。役場職員あたりが幾ら役場の金でも新車まで乗り回していいんですか、町長。ずっと疑問に思っていますよ。60万の5年契約で

300万の軽自動車、平気で今買っていますが、あれ思い切って備品購入に全部回してくださいよ。今、結局闇で買っているようなものですがね、リース料で買って、新車買って役場のものになるわけだから、なるようになったわけだから、去年から。それまではそのまま中古車で、契約期間が終わったら返すということになっていましたよ。取り上げるまでは。取り上げたからやっとなったんであって、単純に言って94万で幾つかね、90万と見ても、450万ですよ。450万の車、自分の金でもない役場の金で車乗り回していいんですか。もうこれ疑問に感じますよ。町長の見解をお願いします。あと、全部この契約書、後で出して30年度の。

○町長（森田 弘光君）

お答えいたします。

今御指摘の車は、町の役場の車庫に入っている車かなというふうに認識しております。確かに、町長公用車がない、そういう状況の中で、3カ町の、多分財源とすれば国の補助金、そしてまた3カ町の負担金でこれは運営している、そういう中でのことだったのかなと思いつながら私も見てるところですけど、まあ立派な車だなあというふうに認識しております。

○建設課長（昇 浩二君）

先ほどの平山議員にお答えいたします。

空港管理費、200万円ほど落ちておりますが、主な原因としましては職員の給与50万余り、手当等が100万円ちょっと、あと共済費が58万円ぐらいという形であります。（「賃金、賃金について」と呼ぶ者多し）（「602万4千円の嘱託賃金」と呼ぶ者多し）

嘱託賃金の内訳であります。繁忙期の駐車場整理でありましたりとか、空港内の除草人夫賃金というのが主になると思っております。（「これ3名ね」と呼ぶ者多し）

申しわけありません。

嘱託で雇用されている方が、今資料の中では1人、何万円とかはございませんが、5名たしかおられると思います。15万円から20万円の間というふうに私は思っております。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○10番（松山 善太郎議員）

さっきのもう一度蒸し返しますけど、101ページ、建設課、道路管理における県道、県管理道路における維持補修事業費、ここにも公用車のリース料が60万あるんですが、この車とあと1つ、83ページの同じく車と家賃まで、地域おこし協

力隊ですね、これも。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

101ページですね。（「県管理業務におけるリース料、これの契約内容」と呼ぶ者多し）はい。まだ予算が通っておりませんので契約はしておりませんが、県管理道路及び町道の管理車として公用車の購入を考えております。

○10番（松山 善太郎議員）

リース料で買うの。買う予定ね。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

リース料のほうを充てていきたいと考えております。

○議長（前田 芳作議員）

課長、もう少し詳しい説明してください。月に幾らで、こうして5年契約で最終的には町のものになるとか、いろいろリースのあり方がありますよね。それちょっと説明をお願いします。

○建設課長（昇 浩二君）

金額からいきますと、12カ月、月5万円ほどのリース料ということになります。ですが今、どういう車というふうに変定はしておりませんので、全体的な金額を把握できているわけではございません。300万程度というふうに変定しております。

○10番（松山 善太郎議員）

いいですか町長。片方は450万、片方はまた300万って言っていますよ。ディーラー、ディーラー始められるんじゃないの。これは、去年150万公用車購入で予算組んでいるんだけど買わなかったの。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

作業用として軽トラックのほうを去年は購入いたしました。

○10番（松山 善太郎議員）

やはり私たちの、私たちって私の言うことなんか全然聞いていないわけですね。私は、せつかくそこに900万も800万もお金があるから、正規の職員2人雇ったらどうねと、雇用して道路一元的に管理させたらそのほうがよっぽどいいよと言っているのに、バックホー買ってみたい、150万で車買ってまた300万で車買う。何をかいわんやですよ。そんなに余裕のあるお金の使い方しては、余りよくないと思うんですけどね。

44ページ、これは総務課かね。

2人、地域おこし協力隊がいると思うんですが、44ページ。ふるさと納税か何かでしたかね。そこの地域おこし協力隊、車の借り上げが116万5千円、住宅使用料が96万、多分2人だろうと思うんですが、ここでも、多分116万5千円だから簡単に計算すれば60万掛ける、60万の2台ですね。家賃は48万の2人だから4万ですかね。どこら辺に住んでいるのか、これもどの程度の車なのか、契約内容。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

車に関しましては、平成30年度に1台リースしてございます。そして平成31年度、新たに地域おこし協力隊がふえましたので、あと1台リースをして、3年契約の保険・車検込みの3年契約となります。大体車両価格は110万程度かと思っております。

それと家賃補助につきましては、議員がおっしゃるとおり月額1人4万円ということで算出してございます。2人とも平土野のほうに居住しております。

○10番（松山 善太郎議員）

町営住宅なのか、普通の個人のおうちなのか。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

2人とも個人の借家ということでお聞きしております。

○10番（松山 善太郎議員）

まさかね、よもやと思うんですが、3年なり5年なりしたら一応は役場のものになるようになっていんでしょう。だけど、それにしても余り高い買い物はしてほしくないですね。なんで、役場職員はやっぱり身の丈で中古車でいいんじゃないですか。無理して新車に乗らないでも。新車に乗りたい人は自分のお金で買って乗ってくださいよ、お願いだから。私は余り好きじゃないですね。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○9番（上岡 義茂議員）

1点だけお伺いします。

82ページ農林水産費の目25農業創出緊急支援事業でドローン購入が200万で組まれています。備品購入で。目的、そして資格の持った職員はおられるのか。そこと、直進アシスト購入って、これ何ですかね。説明をお願いします。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

この事業につきましては、次期奄振事業の中の、今現在メニューにある農業創出緊急支援事業の一つとして、事業名称がスマート農業推進のための導入実証事業ということで、今回取り組ませていただきます。

まず、この事業の中で、本来はソフト事業ということでございますが、県の職員も来て、ぜひこのスマート農業関連事業を実施していただきたいということで、我々も、今スマート農業というのは非常に叫ばれております。その中でドローン、これについては、購入したいということをお伝えしたところ、ドローンの導入事業もオーケーですよということでありました。基本的に、園芸の品目を対象とした農業創出緊急支援事業でございますので、特に、今現在バレイショにおいて疫病防除、こういったものは農家の皆さんが行っているかと思うんですが、まだ不十分じゃないかなということもあったり、また、地上散布となると労力を要するということもございます。こういう中で、町でドローンを購入して空中散布、こういったものを普及させていきたいという思いで今回購入いたします。

また、直進アシストにつきましては、既存のトラクターにそのアシスト装置を装着することによって、しっかりと植えつけの直進ができるという装置でございます。ですので、今回これを導入しまして、またドローンのオペレーターにつきましては、一応10万円ほどの研修・取得費も組んでございますので、今後人選して取得させたいというふうに思っております。

○9番（上岡 義茂議員）

これたしか、今バレイショと出ましたが、農林水産省のほうでバレイショに関しては認定されていないという情報聞いていますが。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

今の農薬については、空中散布用というしっかりとした表記がなされた薬剤しか空中散布できません。バレイショにおきましては、ちょっと県の食の安全推進課のほうからも、このようなリストありますので、この中で殺虫剤ですとか殺菌剤等は、今、9種類ほど登録されているようでございます。

ちなみに、サトウキビは今現在スミチオンのみが空中散布用として登録されているということでございます。（「バレイショは」と呼ぶ者多し）バレイショは、この徳之島で使われている薬剤がアドマイヤー粒剤・水和剤、こういったものが使われておりますが、あと、これ全国的な登録の農薬でございますので、ちょっとここでは聞きなれない薬剤等もございますが、バレイショではトータル9種類登録されております。

○9番（上岡 義茂議員）

オペレーター資格の10万円と言いましたが、この散布するに当たってのオペレーターは確保、どういうふうに考えています。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

これにつきましては、今後人選していきたいと考えております。

○9番（上岡 義茂議員）

これは、農政課あたりで職員のほうを検討しているのか、一般あたりで作業していくお考えなのか。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

職員となりますと、またずっと農政課内に固定してくかどうかということにもなりますので、基本的には民間というか農家の方を検討していきたいと考えております。

○9番（上岡 義茂議員）

今、実際天城町で民間、徳之島町の方が指導されて資格を取らせて、天城町に実質2台が今動いてはいるわけですね。その活用あたりでも十分間に合うと思うんですが、今のところ。民間にそうした場合に、そういう人たちとの連携というのはどうなります。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

今、町内においても、私、実際1台はこの目で見たんですが、今後そういった方々にもこの園芸のみならず、サトウキビ、スミチオンのみですが、今後そういった散布の支援はやっていただきたいというふうに考えております。

我々が導入するドローンについては、営利目的ではございませんので使用料は発生しないということでありますので、いろんなところでどんどんこれを展開して、農家にそのドローン技術の普及を図るとというのが目的でございます。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○13番（平山 栄助議員）

98ページ。

商工費の中の98ページの備品購入費の中でピッチングマシン購入とボールフイーダーというんですか、これ70万、この説明。

それと、124ページ。

節の中の、ちょっと聞いておきたいんですが、劇団四季徳之島公演負担金、わず

かな金額なんですけど、せつかく防災センターもできていますので、これ亀津でばかり公演しないといけないのか、天城町でできないのか。

それと一番下で、結シアター手舞に150万ですね。これの事務あたりはどこが持っているのか、このお金のやりとり。

それと、もうこないだの3町の議員大会のときで、3町長ちょっと会話することがありまして、そろそろ西郷どん、西郷どんのあれは大分有名にもなってきていますし、また3月には奄美文化センターですか、公演も決まっております、非常にもう子供たちは自信を持って頑張っておりますので、そろそろ犬田布騒動とか母間騒動、そこら辺をチャレンジしてみたらいかがかなと、そういう意見も出ておりますが、今後の指導はどのように考えておられるのか。

○商工水産観光課長（折 清次郎君）

スポーツ合宿誘致受け入れの中での野球競技に関する備品であります。

ピッチングマシンにつきましても、もう既に町の備品のほうが老朽化進んでおりまして、一昨年から要望等もございました。そういったことで今回計上をしております。

ボールフィーダーにつきましても、野球のバッティング練習等に使う備品でございます。これは、これまではありませんでしたので、今回初めて購入する備品であります。

○社会教育課長（神田 昌宏君）

お答えします。

劇団四季の件でございますが、この件につきましても、前からも天城町側としても天城町でできないかという話をしているところではございますが、収容人数が600席、向こう、文化会館のほうがちょっと、小学生を受け入れる施設の席の問題とかそういうのがありまして、ここは360席しか席がございません。その辺の兼ね合いがあつて、ちょっと厳しいんじゃないかという話もありますが、何とか天城町でも進めてもらえないかなということはお願いはしているところでございます。

あと、結シアター手舞の件ですけど、これは150万、ことし予算組んでございます。30年度はいろいろ補助金、九州電力からとかいろんなほかの補助金を入れて運営ができたんですけど、どうしても31年度はそれが難しいということもありまして、150万を計上して何とか運営資金のほうに持っていきたいと。受け皿としては、そういうちゃんとした結シアターの補助金の受け皿のあれを、ちょっと名前忘れたんですけどちゃんとありますので、そこにちゃんと入れて運営していくように、報告もちゃんと受けてございますので、それをまた皆さんにおつなぎしながら進めていきたいと考えております。（「今後について」と呼ぶ者多し）今度の公

演の件ですね。今のところ、西郷さんのあれでずっとやっているんですけど、後々は新しいのも考えるということでやっていますけど、しっかりした協議はまだできていませんので、これからまたそういうのも考えてもらうように私たちもお願いしていきたいと思っております。

○13番（平山 栄助議員）

ちょっと、建設課長か総務課長でもよろしいんですが、県道の管理が結局町に移管されておりますよね。その県道沿いのあの白線は、あれはやっぱり県管理ですかね。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

県道の、我々が委託されているのは除草作業ということで委託されております。その白線等については県が管理するところであります。

○13番（平山 栄助議員）

予算と直接は関係ないかもわかりませんが、一つ、今議会終了あたりに、与名間から西阿木名まで県道ずっと確認してください。歩道なんかほとんど消えて見当たりませんよ、横断歩道。

それと、こないだはサンセット入り口から松原に向かってこうやっているんですが、なぜ与名間が抜けるんですか。普通は端から端にするのが普通ですよ。それ飛び飛びね、何かちょっとみつももないというか、見てるこっち側は余りムツとしますよね。普通は町境から向こうにやっていくのが普通でありまして、ぜひ確認されてください。特に横断歩道はほとんどの学校が、きのうも見たんですが、消えてありませんね。これじゃいけないと思いますよ。やっぱり国体も始まることですので、町長もちょっと行かれて確認されるように要請しておきます。総務課長、どうですか。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

私も交通安全対策の観点で横断歩道が消えているところが、特にちょっと交通量の多い空港入り口とか、この辺が完全に消えているというのは把握しています。交通安全対策の一環として、総務のほうからも県のほうに、警察を通じて私たちは要望を出したいと思っています。

○3番（吉村 元光議員）

済いません、建設課のほうへちょっと質問しにくい質問なんですけれども、平和東線、こちらの事業費を見ますと財源的に非常に国・県の補助金とか多くなっております。魅力的な事業だと思います。そういったことで上岡議員からも質問があり

ましたけれども、その中で南側のほうの延長は検討するという答えがありましたけれども、今、戦跡もいっぱい計画上にあります。そして、横線を入れたほうが交通量関係とかいろんな方面でいいという意見もございますので、この事業費が財源的に魅力的ですので、ぜひ設計書を作る段階で、31年度、そこらあたりも組んで、後からまた2回この事業を実施するというのは遠い話だと思いますので、ぜひそういった形に、地元の意見、これを聞いて持っていったらと思います。要請しておきます。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○8番（秋田 浩平議員）

ごめんなさい。すぐ終わります。

105ページの都市公園事業費組まれていますが、去年よりも大分2千200万予算が多く計上されておりますが、まずこれはどういうふうにするつもりなのか。それとこれは予算と関係ないんですけど、秋利神のあそこに公園のところがありますが、あそこは建設課としてどういうふうな考えを持っていますか。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

ことしの都市公園事業につきまして、事業費が5千万円ということになっております。前年度は3千万円でしたが、奄振の枠の中で他町とのやりとりもありまして、お借りしたりしたところはまたお返しするということで、去年は3千万程度に減っておりました。通常5年間計画で5千万でずっと推移していくところではございましたが、そういう理由がございます。ことしは満額ということで予算を組んでおります。

その内容ということですが、内容は、今遊具を設置しております。その遊具を3年か4年かけて完成させていくということ、今現在やっております。

秋利神キャンパスパーク。（「パークの手前の、川の手前のところにもっとこう遊具置いてあったでしょう、あの処理」と呼ぶ者多し）

お答えします。

現況遊具はありませんが、今のところは特に計画しているところではございません。

○10番（松山 善太郎議員）

81ページと82ページ、農政課。

獣肉処理施設の運営費は、535万1千組まれていますが、現在の運営状況。これからもずっとこのような形ですか。最初聞いたところでは、猟友会等に任す

ということでしたが、今後どういった形にするのか。

それと、輸送コストの支援事業、これが全部ここに組まれているのは、払い出す分全部農家に行っているのかどうか。途中で何か農協に幾らかプールするようなお話もあったような気がするもんですから。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

獣肉処理施設につきましては、これまでの議会の中でもいろいろ、運営のあり方について議論がなされてきたところでございます。そういう中で、今年度は一般会計からと、またその直接向こうでの予算ということで、ちょっと両仕立てみたいなことになっていましたので、なかなか数字はつかみにくいという思いもありまして、31年度につきましては、もう歳入側も歳出側も全て一般会計に盛り込んだところでございます。その運営方針については、猟友会のほうが、3、4年ぐらいかけて向こうに移行したいという思いは変わっておりません。この1、2年を、来年度か再来年度ぐらいまでかけて、しっかりとした運営のあり方、道しるべというものをしっかり確立させたいというふうに思っているところでございます。

また、輸送コスト支援事業につきましては、今現在、補助金として5千700万ほど見込んでいるところでございますが、これについては、基本的には生産者に行くということでございます。事業当初から、100%をそのまま農家に返すのはだめですよということと、今現在、一割程度は生産振興費として共同で使ってくださいということがありますので、要綱について変更はないところでございます。ただ、今現在、いろんな形でほぼ100%農家に返っている形になっておりますが、本来であれば農家に返す金と、あと共同で使う金、生産振興費として3割程度は共同で使ってほしいというのは変わっておりません。

○10番（松山 善太郎議員）

気になるんですが、もともとじゃあ農家に全部やるのではなくて、1割、2割は共同で生産振興費という、まあ名目でしょうね、でプールしておきなさいということですか。

それともう一つ、イノシシの買い入れた頭数と売り上げが簡単にわかっているならば、簡単でいいです。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

まず、輸送コストのほうからです。

これについては、プールするのではなく、大きいところでバレイショなんですけれども、一旦現金で直接農家に8割程度は——ちょっとパーセンテージは定かでは

ございません——8割程度は返しておりました。その後、生産振興として2割程度キープしていたものを、これは最終的には種代という形で農家のほうに還元しております。ですので、できれば長い期間プールというか基金的に余りためるのはよくないということは、私ども言っているところでございます。その当年度中もしくは翌年度中にはそれを完了してほしいということです。

申しわけありません。獣肉処理施設の今の受け入れ頭数と販売状況、今手元になって、また委員会の中でしっかりと示したいと思います。

○10番（松山 善太郎議員）

何となく企画課長のほうにわかる文言ですが、わからない言葉が多いものですかね、そこは。

42ページに特定個人情報提供機器交付金というのがあります。これ、去年から始まっていると思うんですが、特定個人情報提供機器交付金。とりあえずそれをまず教えてください、どういった事業なのか。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

これは、総務省の子会社ではないんだろうと思うんですけども、J-LISというところがございます、個人情報をクラウドが北と南にあるということらしいんですよね。それに対して、各市町村で北と南に分かれまして負担金をお支払いしております。これに関しましては、国のほうで補助金が交付されますけれども、平成31年度に関しましては、まだ国のほうでその補助金が、国の予算が確定していませんので、これに関しましては、6月以降に補正の歳入につきましては補正の対応になるかと思っております。

○10番（松山 善太郎議員）

よくわかりませんが、要は会社があって、国から補助金が出たらその会社に払うということですか、簡単にいえば、右から左。余りわかりにくい世界ですので、私なんかには。

あと、そこばかりで申しわけないんですけど、自然保護協議会の負担金が20万、70万、120万、175万というようにどんどんふえていっていますが、ことしは175万はどういったことに使うのか。去年はちなみに、記念行事をやりますから120万にふやしましたよということでしたが、あいにく遺産登録なりませんので記念行事はできなかったわけですが、このふえた理由です。もう一回言います。20万、70万、120万、175万とどんどんふえてきています。

その下です、もう1つ、42ページに電算用の備品購入というのがあります。下のページの備品購入です。これ非常に不親切でね、電算機器、電算用機器購入1千

万となっておりますが、もうちょっと親切に丁寧に書いてもらえたらいいんですが、わかる分で主なのだけで結構です。説明してください。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

40ページの世界自然遺産対策費の中の徳之島地区自然保護協議会負担金が175万円と年々増加しているということではありますが、負担金の中にシンポジウム経費としてシンポジウムを開催する予定としております。

それと、あまぎ学の中で交流事業費というのがございまして、この部分に関して、一旦自然保護協議会の中で支出をしていただくということで、この分がふえております。

それと、希少種移植ということで、枯れた松に付着というんですかね、ついている希少な植物を移植する予算を計上してございます。

それとあと外来種駆除を、来年の世界遺産登録を確実なものにするために、IUCNから指摘がありました外来種駆除についても強化していきたいということで予算を計上してございます。

それと、電算管理費の電算用機器購入費ということのお尋ねですが、パソコンを100台購入する予定となっております。

○10番（松山 善太郎議員）

その100台はどうするんですか。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

庁舎内で70台、学校関係で30台を予定しております。

私もちょっと余り詳しくはないんですけど、OSサポートが終了に伴う機器の変更ということになってございます。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○10番（松山 善太郎議員）

93ページお願いします。

松原漁港だと思いますが、水産物供給基盤機能保全事業というのがあります。

多分何も書いていないと思いますが、これだけでは皆目わかりませんので、施政方針か何かで松原漁港というの見たような気がするんですが、どういった工事をするのか。

○商工水産観光課長（祈 清次郎君）

松原漁港施設の老朽化に伴い、保全工事を行ってまいります。

31年度につきましては、内防波堤33.2m、岸壁のほうから見て正面のほうに防風柵が一部破損しているようなところがありますが、あの内防波堤の33.2mの保全工事を行います。

もう1カ所は、導流堤26m。これは中島商店から松原漁港に来る道路からまっすぐ伸びている導流堤の一部分26mの基礎の部分であります。この後、年次的にこの計画に基づきまして、松原漁港を年次的に保全工事を行います。

ちなみに、来年につきましては、国体本大会がありますので1年間休止をし、その翌年からまたそれぞれの箇所、工事を進めていきます。

○議長（前田 芳作議員）

これで質疑を終結したいと思います。

（「質疑なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

お諮りします。ただいま議題となりました議案第16号から議案第20号は、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

異議なしと認めます。よって、議案第16号から議案第20号は、それぞれ所管の常任委員会に付託することに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

これからは委員会とし、次の会議は3月20日水曜日午前10時から開会します。本日はこれで散会します。

散会 午後 0時05分